

基議総文第314号  
令和7年2月28日

基山町議会  
議長 重松 一徳 様

総務文教常任委員会  
委員長 天本 勉

### 所管事務調査報告

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

#### 記

#### 1 調査事項及び調査期日

(1) 基山町立図書館の運営について 令和7年1月24日(金)

#### 2 調査結果

基山町立図書館は平成28年に中央公園に移転し、現在まで9年が経過している。開館時間は9時から18時で、月曜日が閉館日になっている。

これまでの年度別利用状況は令和元年度が最高で、入館者数は16万2,764人、貸出冊数は30万1,461冊であった。コロナ禍で一時落ち込んだが、令和5年度は入館者数15万9,737人、貸出冊数29万957冊で回復を見せている。

図書館の主な事業について質したところ、令和5年度は主催事業を50回開催し、2,638人の参加があった。主なものとしては、読書推進講演会、ブックスタート、クリーニングデイ、竹あかりナイト in 図書館、開館記念イベントなどを行ったとの説明を受けた。

きやまラウンジ、多目的室、おはなしの部屋、郷土資料コーナー、読書の丘など町民が利用しやすいよう配慮がなされている。また、学校との連携として、参考資料支援や団体貸出などの協力をしている。

事業を継続していくための今後の取組について質したところ、主催事業では職員と共にボランティア団体「手をつなごう図書館の会」や「まーまぼけっと」、「おはなし虹の会」などの協力を得ている。「手をつなごう図書館の会」とは、

毎月定例会を開催し、イベントの開催内容について協議しており、図書館だよりの発行も連携して行っている。また、図書館周辺の草取りなどは他の町民も参加して行っているとの説明を受けた。

現在の図書館運営の課題について質したところ、以前は職員の中で4人司書の有資格者がいたが、現在は3人であること。また、イベント時には駐車場が40台では足りないことが課題であるとの説明を受けた。

図書館周辺の環境を視察したところ、読書の丘、公園内の桜の木々など基山町が誇れる文化の拠点であると認識した。

当委員会としては、継続して事業を行っていくためには、有資格者を4人体制に戻すと共に年齢のバランスを考えた人材を育成し、町民一人一人の居場所としての図書館づくりを行うよう提案した。